

「外国人雇用状況」の届出状況(平成29年10月末現在)

1 外国人労働者の状況

労働者全体の状況について

- ・外国人労働者数は4,024人。
前年同期比で394人(10.9%)増加。

○ 国籍別の状況

- ・中国 1,605人(全体の39.9%) [前年同期比15人(0.9%)減少]
- ・ベトナム 1,116人(同27.7%) [同297人(36.3%)増加]
- ・フィリピン 432人(同10.7%) [同51人(13.4%)増加]

○ 在留資格別の状況

- ・技能実習 2,630人(全体の65.4%) [前年同期比12.6%増加]
- ・身分に基づく在留資格 670人(同16.7%) [同1.7%増加]
- ・専門的・技術的分野 337人(同8.4%) [同8.0%増加]
- ・技能実習の構成比は、全国における構成比(20.2%)と比べると高い。

○ 地域別の状況

- ・徳島地域 1,544人(全体の38.4%) [前年同期比9.2%増加]
- ・鳴門地域 797人(同19.8%) [同11.9%増加]
- ・吉野川地域 600人(同14.9%) [同14.1%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・「30人未満事業所」が最も多く、外国人労働者数全体の50.6%を占めている。
- ・「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の33.9%)と比べると高い。

2 事業所の状況

事業所全体の状況について

- ・ 外国人を雇用している事業所は847所。
前年同期比で66所(8.5%)増加。

○ 地域別の状況

- ・ 徳島地域 344所(全体の40.6%) [前年同期比7.8%増加]
- ・ 鳴門地域 208所(同24.6%) [同 12.4%増加]
- ・ 吉野川地域 103所(同12.2%) [同 6.2%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・ 「30人未満事業所」が最も多く、事業所全体の67.8%を占めている。
- ・ 「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(57.5%)と比べると高い。

3 産業別の状況

- ・ 外国人労働者が就労している業種、外国人労働者を雇用する事業所数ともに、製造業が最も多い。
- ・ 製造業に就労している外国人労働者数は、外国人労働者数全体の48.4%、外国人労働者を雇用する製造業の事業所は、事業所全体の32.6%。
- ・ 製造業の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の30.2%、事業所全体の22.2%)に比べると高い。
- ・ 農業・林業に就労している外国人労働者数は、外国人労働者数全体の12.9%、外国人労働者を雇用する農業・林業の事業所は、事業所全体の17.4%。
- ・ 農業・林業の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の2.1%、事業所全体の4.2%)に比べると高い。

4 派遣・請負の状況

- ・ 外国人労働者を雇用している事業所のうち、労働者派遣・請負事業を行っている事業所数
 - ・ 43所(事業所全体の5.1%)
- ・ 労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労している外国人労働者数
 - ・ 212人(外国人労働者全体の5.3%)